

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 4 部門第 1 区分
 【発行日】平成21年7月30日(2009.7.30)

【公開番号】特開2008-297726(P2008-297726A)
 【公開日】平成20年12月11日(2008.12.11)
 【年通号数】公開・登録公報2008-049
 【出願番号】特願2007-142365(P2007-142365)
 【国際特許分類】

E 0 4 G 23/02 (2006.01)

B 0 5 C 5/02 (2006.01)

【F I】

E 0 4 G 23/02 B

B 0 5 C 5/02

【手続補正書】
 【提出日】平成21年6月12日(2009.6.12)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

壁の亀裂に先端が配置され該亀裂に充填材を注入する注入ノズルと、壁面に吸着により付設され吸着解除により離脱させられる吸着ブロックと、該吸着ブロックに設けられ先端部に上記注入ノズルが取り付けられるアームとを備えた壁の亀裂補修装置において、

上記アームの中間部を上記吸着ブロックに対し上記中間部を通り該アームの先端部、中間部及び後端部を通る中心軸に直交し且つ上記壁面に平行な水平軸回りに回動可能に支持し、該アームの後端部に上記壁に先端が当接し上記注入ノズルによる充填材の充填時に当該アームに生じるモーメント荷重を受ける当接部材を取付け、

上記先端部及び中間部間の距離と、上記後端部及び中間部間の距離とを等しくし、

上記注入ノズルの上記アームに対する突出寸法及び上記当接部材の上記アームに対する突出寸法の少なくともいずれか一方の突出寸法を可変にし、

上記当接部材を上記アームに対して進退動可能に設け、該当接部材をその進出方向に付勢するスプリングを設け、

上記アームの中間部を上記吸着ブロックに対してユニバーサルジョイントを介して支持し、

上記アームの先端部を、上記注入ノズルが取り付けられるユニバーサルジョイントで構成したことを特徴とする壁の亀裂補修装置。

【請求項 2】

上記ユニバーサルジョイントの回動をロックするロック機構を設けたことを特徴とする請求項 1 記載の壁の亀裂補修装置。

【請求項 3】

上記アームの後端部を、上記当接部材が取り付けられるユニバーサルジョイントで構成したことを特徴とする請求項 1 または 2 記載の壁の亀裂補修装置。

【請求項 4】

上記ユニバーサルジョイントの回動をロックするロック機構を設けたことを特徴とする請求項 3 記載の壁の亀裂補修装置。